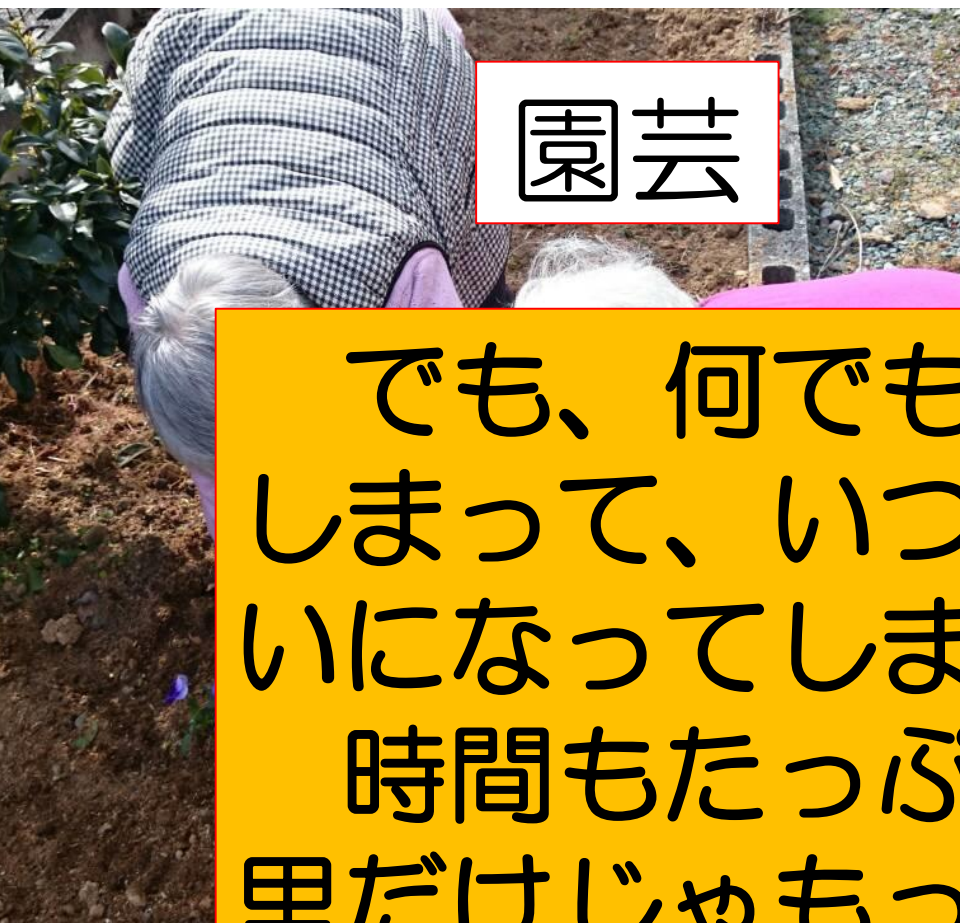


グループホーム・土香里の挑戦！

～やってやれないことはない～



グループホーム・土香里
井上真喜子



園芸



家事

でも、何でもすぐにこなして
しまって、いつも家事の取り合
いになってしまう…

時間もたっぷりあるし、土香
里だけじゃもったいないなあ…



食欲

自分のいつもの
掃除の場合



『しんどいのになあ・・・・』
『誰か掃除してくれんかなあ・・・・』

誰かのいつもの
掃除の場合



『忙しそうだから手伝ってあげようかな。』
『喜んでもらえるかな。』



自分の仕事と思うと嫌でたまらないのに
なぜか人の仕事の場合は全然嫌じゃない！

ついつい、いつもよりきれいに掃除して
しまったりする。

そうだ！！

施設の外に飛び出してみよう！

頼られるって素敵なこと。

誰かに喜んでもらいたい。

もっとたくさんの人に褒めてもらいたい。

たくさんの仲間を作ろう。

忙しいって嬉しいこと。

もっともっと人生を楽しもう。

諦めるのはまだ早い！

Gigi

Baba

Volunteer

28



pixta.jp - 9021148

誕生！

GBV28 とは

かしこまい!



- グループホーム・土香里の入居者主体のボランティアの会である。
- お年寄りならだれでも会員になれる。
- 職員はあくまでお手伝い。黒子に徹する。
- 平成28年発足。気持ちは永遠に28歳！という事での28。(AKB48のパクリ)
- 掃除・洗濯・草引き・話し相手・イベントの手伝い・サクラ・歌・繕い物などできることは何でもOK。
- 会費は無料。活動費は検討中。

まずは
ユニホームだ！





「オレンジ似合うなあ。」

「あんた、ちょっと着とおみや。」

「ほしたらオレンジに決定や！」

「どんなんがええかなあ…」

「派手な色がええなあ。」

「わい、と分ら

できた！印刷料込みで
1, 780円！安～い！！



かしうさ (かしこまりうさぎ)

土香里は開設以来ずっとうさぎを飼っている。今は、室内うさぎだが、開設当初は小屋にも入れず自由に庭で飼っていた。そのうち土香里のうさぎを好き放題にするが、それはありき

巨人ファンではない。百里から
行き、無農薬新鮮
ただくようになった。良いも
悪いも、ご近所との交流のきっかけを
つくってくれた。

そんなうさぎのように飛び出せ
GBV28！

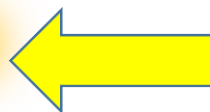


次は名刺だ！



「生まれてはじめてじゃわい。」
「わーすごい。わたしの!？」

本人の言葉



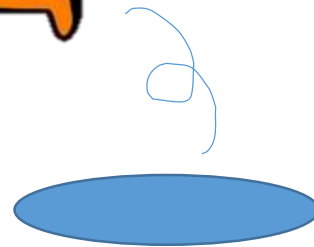
家族の言葉



「ばーちゃんすごいの! 偉なったもんじゃ。」
「私でも持ったことないよ。すごいねえ。」

その次は
100均だ！

かしこまい！



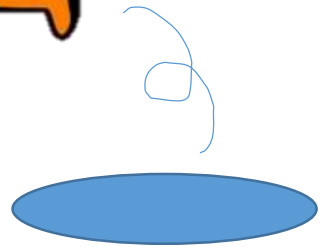
「ほうきは枝が長い方がええな
腰が痛いけん。」



「あんた、お金あるん。ほんならついでに
お菓子とジュースも買おかな。」

その次の次は
ちらしだ！

かしこまい！



ユニホームと同じく
オレンジで作成！



さらにやる気が
でてきたぞ！

よし、営業だ！



近所のグループホームへごあいさつ



ひよんなことから川柳友達もできました。



また来てね
孫の喜ぶ
顔みたい



社会福祉協議会へごあいさつ

「すごいねえ〜」



名刺とパンフレットを
渡してごあいさつ

活動開始！



とりあえずはご近所のゴミ拾いから

あっという間に終了！

やる気满满！

地域の大型施設での落ち葉そうじ

1時間の予定がついついいろんな所
が気になって2時間頑張りました！



まずは名刺を渡して
ごあいさつ

高校生とお友達になる。



「お礼のお手紙出そうかね」 ^ ^

認知症サポーター養成講座

「準備やら受付やら忙しいけど、おもしろいなあ。」

認知症ケア専門士会お手伝い



「はよはよ、もう飴がないよ。
一個食べちゃるか。」

隣町のホスピスのお庭の草引き

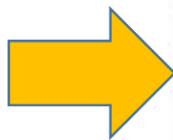


「春になったら、ピーマンとトマト
植えに来ないかなあ。」

帰りにチキンラーメン号発見！！
ただ？！やったあー！ご褒美だ！



新聞の一面！



小さな親切運動。
表彰！



(1) 総合★10版

明治25年2月29日第3種郵便物認可

愛媛

24



えひめ認知症対策 ■ 1

「掃除させてもらってありがたい。いい空気が吸えました」。同市大平の認知症高齢者向けグループホーム「土香里（ごかり）」の入所者でつくるボランティアグループの会長、木山幸子さん（92）は、少し疲れた様子を見せながらも大きな声でからからと笑った。

土香里では要支援とから要介護までの18人が生活する。「認知症といってもできることはたくさんある。その経験や知識、能力を施設の外でも生かしたい」。介護支援専門員で管理者の井上真喜子さん（52）の発案で2016年、グループは発足した。その名も「GBV（ジジバボラティブ）28」。メンバーは80、90代の6人で、名刺を作って市役所や社会福祉協議会などに「営業」にも出向く。

「マネキン（店頭での商品の説明、販売）をした」

「土香里」の挑戦① 他人の役に立ちたい



ボランティアをする土香里GBV28のメンバーら。遊歩道を埋めた落ち葉を集め、ほどよい汗を流した。5月21日午後、伊予市

「マネキン（店頭での商品の説明、販売）をした」

「土香里」の挑戦① 他人の役に立ちたい

「土香里」の挑戦① 他人の役に立ちたい

座では、木山さんらが受付に座り来場者を出迎えた。「グループホームは地域入所者を中心に地域住民も加わり約20人が参加。施設長の河本圭三さん（50）が「支え合う仕組みをつくる」と語りかけ、時間や場所の感覚が薄れたり判断に支障が出たりする症状の特徴や「驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない」といった対処の心得を説明した。

近くで一人暮らしをする90代の女性は、足が不自由だが近所の人の助けを借りて受講した。「花見の時も声を掛けてもらった。ここにきて楽しいと、おいしそうにコーヒイをすすり、顔みみもよく同世代に慣れた地域で安心して暮らしていくためにはどうしたらいいか。探索する県内の現場を訪ねた。

（安藤美和）

△次回から3面に掲載します

GBV28、会長・副会長に 聞いてみよう！

- ボランティアは楽しいですか？
- 嫌だったたりしんどかったりしたことはありましたか？
- 長生きの秘訣は？



活動してみても...その1

- ばあちゃんたちの手際のいいこと！
- ばあちゃんたちの本当に楽しそうなこと！
- ばあちゃんたちのよく食べよく寝る事！
- 帰りにコスモスで買って食べた40円のアイスの美味しかったこと！
- 汗いっぱいかいたばあちゃんたちの顔のすがすがしいこと！
- そんなばあちゃんたちを見た私たちも、すがすがしい気持ちにさせてもらったこと！！
- 日々の生活も抜群にやる気になってくれたこと！

活動してみても...その2

- ・ 日々の業務が忙しく、なかなか活動できないこと。
- ・ 入居者全員ができることではないこと。
- ・ 行った先の方が気をつかってしまうこと。
- ・ 「ケガをしたら…」と心配されてしまうこと。
- ・ 義務になってしまわないかと心配になること。

今後の活動予定！



- 愛媛大学医学部構内の草引き。
- 定期的に市内のグループホームへ訪問し、交流をする。(会員の勧誘)
- 会員交流会を開催する。
- 近所のお一人暮らしのお年寄りのお宅訪問。
傾聴ボランティア。
- 土香里→伊予市→中予→愛媛県→四国
→日本→世界へと拡大！！
- 雑巾やコースターを伊予市内の幼稚園や学校等にプレゼント。

その他の楽しい社会参加

土香里では、地域で楽しそうなことがあれば、地域の一員として、積極的に参加しています。ほとんどのイベントは、無料か格安で参加できます。一緒に参加した職員も楽しんでいます。

介護保険サービスを使うことだけに固執せず、世間をみわたせば、楽しい社会資源はいくらでもあります。つかわにゃ損損！

地域のサロン(ランチ300円)



地域の小学校での観劇



歌声喫茶（飲み放題1,000円）



RAN伴に参加



近くの特養のお祭り



料理教室(無料)



2018/12/06 09:53

- ・ Aさんの場合(要介護 3 → 要介護 1)

「転倒のリスクが高く、歩くのは無理でしょう。嚥下障害があるのでミキサー食をお願いします。」と老人保健施設から車いすで入居されたAさん。

自由に歩きたいだけ歩き、食べたいものを食べているうちに、普通に歩行もでき、今は自宅に帰ってご家族と暮らしている。年に1回地方祭では元気な姿をお見掛けする。

・ Bさんの場合(要介護5→要介護1)

「夜も寝ないし、毎日大声で叫んでいます。転倒のリスクが高いのに立ち上がって困っています。お食事もできません。」と退院を急かされて、泣きながら相談に来られたご家族。入居時には、よだれが出るほど精神薬をたくさん飲んでいました。

精神薬を調整し、自由になんでもしてもらっているうちに、ぐんぐんよくなり、自分で歩き、食事も入浴もトイレもほぼ自立。夜も朝までぐっすり休み、大声を出すこともなくなり、他者との交流もできるようになった。

- ・ Cさんの場合(要介護 4 → 要支援1)

車椅子で入居され「こんなところに来るなんか聞いてない！家へ帰る！」と言って一日中怒っていたCさん。

洗濯物たたみ、食材きり、裾上げなど、退屈にならないように何でもお願いしてみると、何でも上手に手早くできる。そのうち、帰宅願望は一切なくなり、今では、土香里にいないでは、業務に支障が出るほどの人物になって職員に頼られている。退屈は敵である。

『してあげよう。』より『**してもらおう。**』



- 自分も**楽**ちん！
- 入居者も**楽**しい！
- 家族も**嬉**しい！

これからが、私たちの本当のチャレンジ！
どんどん広げて**グループホーム革命**だ！

虹



頼むよ、ばあちゃんたち！
Never give up!



ご清聴ありがとうございました。

人生、死ぬまでチャレンジですね・・・